

資料 1

# 宇都宮市水道100周年・下水道50周年 記念事業実施結果

## ■記念事業の目的

これまでのあゆみを振り返りながら、お客様に上下水道に対する理解と関心を深めていただき、上下水道事業を後世に引き継ぐもの

## ■記念事業の期間 : 平成27年4月～平成29年3月

(水道:平成28年3月に通水開始から100年)

(下水道:平成27年8月に処理開始から 50年)

## ■主な取組内容 : 記念式典の開催, 記念誌の発行, 記念事業の広報, 関連イベントの開催 など

# 記念事業の取組① キャッチフレーズの公募・活用

## ■平成27年6月 キャッチフレーズの公募及び公表(広報紙)

**キャッチフレーズ決定!**

上下水道局では、平成27年8月に下水道の処理開始から50周年、翌28年3月に水道の通水開始から100周年という大きな節目を迎えるにあたり、市民の皆さんから上下水道事業のキャッチフレーズを募集しました。  
この度、厳正な審査の結果、採用作品が決定しましたのでお知らせします。

青柳 婦美子さん(氷室町)の作品

採用作品 **「おいしい水と澄んだ川 未来に届ける 宮の水」**

採用作品は、上下水道事業のキャッチフレーズとして未永く使用させていただきます。たくさんのご応募、ありがとうございました。

経営企画課 企画財政広報グループ ☎633-3230

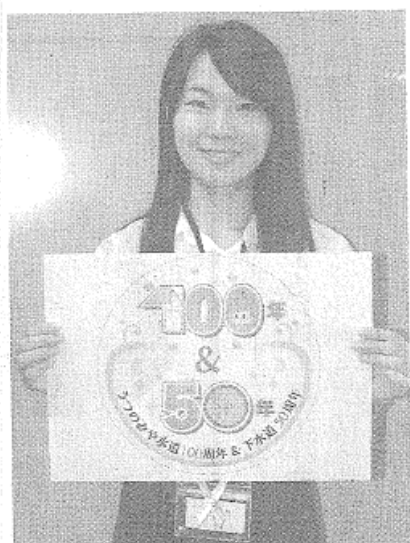


### ■ キャッチフレーズの活用例(グッズ ↓ 懸垂幕 →)



## 記念事業の取組② ログマークの作成

### ■平成27年8月 ログマークの作成



記念ログマーク作成  
宇都宮市の水道100周年、下水道50周年を記念して同市上下水道局はログマークを作成した。デザイン

を手掛けたのは4月に入庁した同局の長嶋舞さん(22)。「幅広い年代の方に親んでもらえるよう、カラフルな色使いにした」ログマークには、同局のマスケットキャラクター「水道ぼうや」や、今市浄水場の旧管理棟などを盛り込んだ。今後はイベントで配布するグッズなどに活用する予定という。

「自分の仕事  
事が形になる  
つてすごいこ  
と。デザイン  
を使ってもら  
えてうれし  
い」と初々し  
い笑顔を見せ  
た。



(下野新聞:H27.8.28付朝刊より)

# 記念事業の取組③ PRグッズの作製・活用

■平成27年8月～ PRグッズの作製・イベント等での配布



# 記念事業の取組④ 上下水道局広報紙の活用

■平成27年9月～ 記念事業周知

- 関連イベントの開催や下水道50周年に係る記事の掲載



第51号(H28.4.3)  
臨時号での特集



第52号(H28.6.5)  
下河原水再生センター

**水道100周年・下水道50周年記念イベント!**

上下水道局では、水道100周年・下水道50周年を記念して、8月に2つのイベントを行い、事業のPRをしました。

**上下水道施設1日開放**

記念事業の本格スタートのイベントとして、8月1日、松田新田浄水場(今里町)と上河原水再生センター(芦沼町)を開放し、各施設の見学ツアーや水質の実験、下水をきれいにする微生物の観察などを行いました。

**親子で巡る 宮の水歴史探検ツアー**

8月1日・23日に、瀬西川ダムや市内の浄水場、水再生センターを巡り、上下水道の仕組みを知る探検ツアーを行いました。参加者の方からは「普段見ることが出来ない施設内部を見ることが出来たので大変興味深かった」、「家族で楽しみつづ上下水道事業に関する理解を深めることが出来た」などの声が聞かれました。ご参加くださった皆さん、ありがとうございました。

**守都宮市は8月に下水道50周年を迎えました!!**

宇都宮市の下水道事業は、昭和32年(1957年)に、市街地の田川右岸地区で下水道管の整備工事を開始しました。その後、田川処理場(現在の下河原水再生センター)の完成を経て、昭和40年(1965年)8月に下水の処理を開始しました。

その後も市民の皆様のご協力の下、市内での下水道の整備事業を進めてまいりましたが、おかげさまで、今年8月に下水の処理開始から50周年を迎えました。施設の老朽化への対応や近年頻発している局地的な豪雨に備えた雨水対策など、さまざまな課題もありますが、上下水道局では、これからも生活排水と雨水の適正な処理を進め、皆様の快適な生活環境を確保してまいります。

また、来年3月には、水道事業においても、通水開始から100周年を迎えることから、平成27・28年度限定の各種イベントを実施します。本紙やホームページなどで情報を掲載していきますので、多くのお客様のご参加をお待ちしております。

## 記念事業の取組⑤ 記念ラベルペットボトル「泉水」の作製・活用

■平成27年10月 プロスポーツチームラベルの「泉水」の作製・配布



(平成27年11月22日 リンク栃木vs  
アイシン三河戦(ブレックスアリーナ宇  
都宮)にて)

## 記念事業の取組⑥ 水道週間関連事業

■平成27・28年6月

【図書館における展示】



【車両ステッカーによる周知】





## 記念事業の取組⑦ 市主催イベントへの出展

■平成27・28年5月

【フェスタMY宇都宮(オリオン通り)】



■平成27・28年10月

【うつのみや食育フェア(宇都宮城址公園)】



# 記念事業の取組⑧ 上下水道施設一日開放①

■平成27・28年8月

水道施設：松田新田浄水場



## 記念事業の取組⑧ 上下水道施設一日開放②

■平成27・28年8月

下水道施設：上河内水再生センター



## 記念事業の取組⑨ 上下水道探検ツアー（8月）

■平成27・28年8月

- 湯西川ダムほか →
- 戸祭配水場ほか ↓



# 記念事業の取組⑩ 下水道いろいろコンクール

■平成27・28年10月

【最優秀作品の例】



中三年  
と環境  
江口慧

# 下水道

【表彰式】



「下水道 見えないくらしの パートナー」

# 記念事業の取組⑪ 記念パンフレット作製

■平成28年3月～ 記念事業のPRとして、各種イベント等で配布



## 記念事業の取組⑫ 消化ガス発電事業

■平成28年3月

- 下水汚泥から発生する、消化ガスを活用した発電システム
- 消化ガスを使用した燃料電池発電施設としては、国内最大級規模
- 電力発電量(最大):約717万KWh/年 (一般家庭の約2,000世帯分)



消化ガス発電起電式の様子(H28.3.28)



消化ガス発電施設

## 記念事業の取組⑬ 記念式典の開催

- 開催日：平成28年6月4日
- 会場：市役所本庁舎14階
- 出席者：111名
- 内容：事業経過報告、表彰ほか





# 記念事業の取組⑭ 記念マンホール蓋の作製・活用

■平成28年12月～

記念マンホール蓋設置



◎設置場所：二荒山神社近辺やオリオンスクエア前などの観光ポイント(6箇所)

マンホールカード配布



◎配布実績：912枚 (H29.2月末現在)

## 記念事業の取組⑮ 記念誌の編さん・発行

### ■平成27年4月～

- ◎主な内容： I 編 世界・日本の水道と下水道の起源  
(約660ページ) II 編 宇都宮の水道の歴史  
III 編 宇都宮の下水道の歴史  
IV 編 新たな100年を目指して  
(総論：作新学院大学 太田 正 教授)

◎発行部数： 500部

◎発行時期： 平成29年3月末

